

(様式2)

3. 事後評価の実施

(1) 実施時期

令和7年6月25日 令和7年6月定例教育委員会会議

(2) 評価の方法

- ・教育委員会6月定例会にて評価する。
- ・事業計画内容及び事業計画の目標達成度合いを教育委員会に報告する。
- ・トイレ洋式化事業についてのアンケート実施結果を報告する。

4. 総合的な所見

施設整備計画の目標は、おおむね達成できた。  
共同調理場の新築により目標は達成され、「①老朽化した施設への対応、②衛生管理基準への対応、③増加するアレルギー食への対応、④慢性的な調理員不足への対応、⑤給食食材の配達の継続」の課題が解決できた。  
また、トイレ洋式化事業については、アンケート結果から児童・職員から好感触を得ているが、屋内運動場のトイレ洋式化が未実施であることから、早急な対応について要望がある。

5. 各目標の達成状況

(1) 老朽化対策を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(2) 新時代の学びを支える安全・安心な教育環境の確保を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかつた

【所見】

(3) 教室不足の解消等を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかつた

【所見】

(4) 教育環境の質的な向上を図る整備

【目標の達成状況】 **目標を達成した** / 達成できなかつた

【所見】

令和6年度4校でトイレ洋式化工事を実施し、域内の小学校（屋内運動場を除く）の洋式化を完了した。

事業実施校に対して目標対象状況について、アンケートを実施した結果、概ね「目標を達成した」との回答が得られた。

(5) 施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備

【目標の達成状況】 **目標を達成した** / 達成できなかつた

【所見】

新城市学校給食センターを新設したことにより建物や設備機器等の老朽化を改善することができた。

学校給食センターでは学校給食衛生管理基準に基づき汚染作業区域と非汚染作業区域を区分した導線を確保することができ、ドライシステムの採用により衛生的な調理環境を実現することができた。

また、アレルギー対応調理室を設けたことにより食物アレルギーをもつ児童生徒に対し、より安全な給食の提供が可能となった。

6. 改築後の危険建物等のとりこわし状況

(様式3)

## 7. 事業ごとの実施状況

学校等の名称	目標	事業区分	整備方針				事業完了年月日	(実施しなかった場合) 未実施の理由・今後の対応予定等	備考 (改築事業は、旧施設の とりこわし時期を明記)
			事業単位	建物区分	構造区分	全事業期間 (契約～完成)			
新城小学校	(4)	06	大規模改造(トイレ)	校	-	R5.6～R5.10	R5.11.10		
東郷西小学校	(4)	06	大規模改造(トイレ)	校	-	R5.6～R5.9	R5.10.5		
千郷小学校	(4)	06	大規模改造(トイレ)	校	-	R6.6～R6.10	R6.10.30		
鳳来中部小学校	(4)	06	大規模改造(トイレ)	校	-	R6.6～R6.10	R6.10.18		
鳳来東小学校	(4)	06	大規模改造(トイレ)	校	-	R6.6～R6.10	R6.10.18		
東陽小学校	(4)	06	大規模改造(トイレ)	校	-	R6.6～R6.10	R6.10.18		
(仮称)新城学校給食共同調理場	(5)	20	共同調理場(新增築)	-	S	R4.9～R6.6	R6.7.9		